

(株)三越伊勢丹ホールディングス(国内百貨店事業)売上速報(2020年 1月)



三越伊勢丹ホールディングス

2020年2月3日

国内百貨店事業 売上

店名	前年比	4月-1月 累計
伊勢丹新宿本店 店頭	97.3%	97.4%
三越日本橋本店 店頭	90.5%	95.5%
三越銀座店	100.7%	98.2%
伊勢丹立川店	100.0%	99.2%
伊勢丹浦和店	95.4%	97.0%

会社名	前年比	4月-1月 累計
札幌丸井三越	101.6%	99.5%
函館丸井今井	114.9%	107.8%
仙台三越	93.7%	95.0%
新潟三越伊勢丹	111.9%	98.0%
静岡伊勢丹	95.3%	95.2%
名古屋三越	95.6%	97.9%
広島三越	97.5%	99.5%
高松三越	95.9%	97.0%
松山三越	90.4%	92.7%
岩田屋三越	89.7%	94.5%

三越伊勢丹 計	90.4%	95.6%
三越伊勢丹 既存店計※	96.5%	97.0%

※2019年9月末日営業終了した伊勢丹相模原店・伊勢丹府中店の実績除く

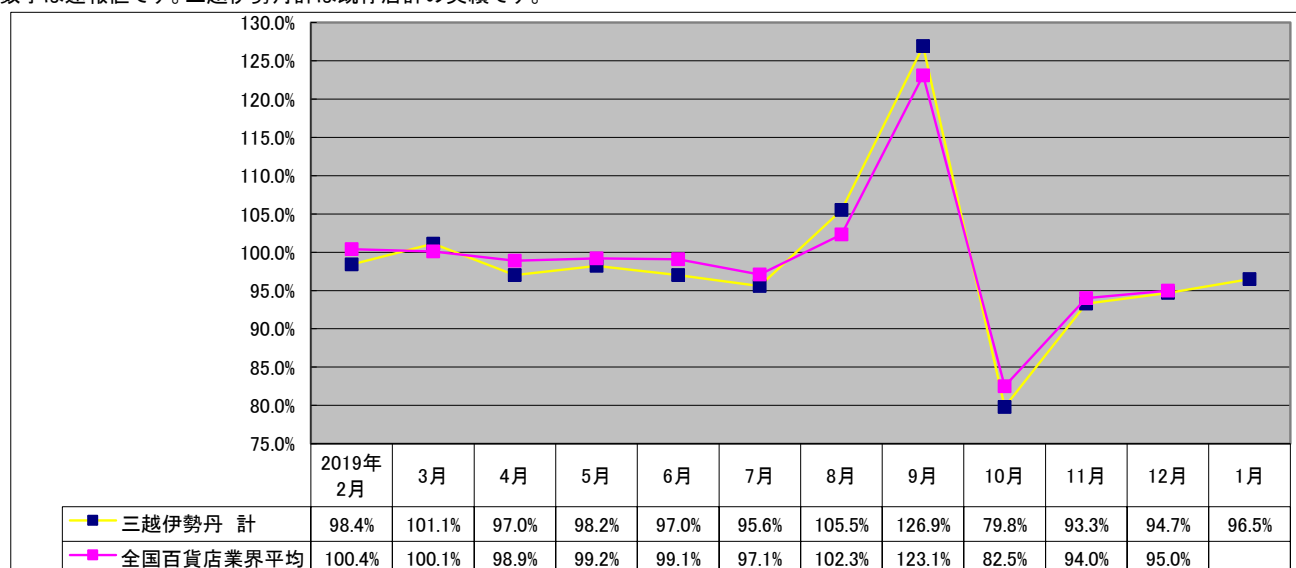
国内グループ百貨店 計	96.6%	96.8%
-------------	-------	-------

国内百貨店 計	93.0%	96.1%
国内百貨店 既存店計※	96.5%	96.9%

※2019年9月末日営業終了した伊勢丹相模原店・伊勢丹府中店の実績除く

過去1年間の月別売上高(前年比)推移 [三越伊勢丹・全国百貨店業界平均]

数字は速報値です。三越伊勢丹計は既存店計の実績です。



概況

- 三越銀座店など前年実績を上回る店舗があるものの、一部カテゴリーにおいては消費増税の影響が残り、また暖冬で冬物アイテムが伸び悩んだことに加え、1月下旬から新型コロナウイルスによる肺炎の感染拡大による消費マインドへの影響もあり、首都圏三越伊勢丹(既存店)と国内百貨店(既存店)ともに、4か月連続して前年を下回る。
- 首都圏の基幹店計では、好調なアイテムは時計、ハンドバッグや子供服等。また、1月後半から春物に対するお客さまの関心も高まり、レディースでは春の新作のドレスやカットソー、メンズではカジュアルシャツやパンツ等に動きがある。
- インバウンド売上に関しては、中国の海外団体旅行禁止に伴い、中国人の来店客数が月末に減少したが、春節(昨年は2月)等のプラス与件もあり、首都圏三越伊勢丹(既存店)と国内百貨店(既存店)ともに、8か月ぶりに前年比を上回り好調に推移した。